

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区
まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
野々口義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

幼稚園園舎解体工事へ

こども園事業者公募は7月実施予定

市説明

認定こども園設置問題で、大津市保育幼稚園課は、4月5日、学区教育を語る会役員会で、日吉幼稚園園舎解体工事スケジュールとこども園設

置事業者公募計画を説明した。計画によると、園舎解体工事を行う工事入札業者公募を6月から7月にかけて行い、こども園運営事業者を決める2回

目の事業者公募は7月ごろに予定、今秋の9月、事業者を選定へ。順調にゆけば令和3年4月、日吉幼稚園跡地にこども園が開園する。

市は、こども園開設事業者を募る公募を29年秋に行つたが、この時は、設置を希望する事業者がなく公募は不調に終わった。老朽化している日吉

台幼稚園園舎購入を事業者が敬遠したものとみられる。1回目の公募が不調に終わったことで市では、公募条件を見直し、老朽園舎を市の経費で解体、更地にしたらうえ敷地を賃貸、賃貸額も軽減する方向で検討を進めている。

園舎解体工事は、園舎外壁材、天井材にアスベストが含有しているため、除去工事後、建物を解体。園庭にあるサクラノボの木やフジ、桜など、住民や卒園児の父母らから残して欲しいという希望があり、移植について前向きに検討するという。解体工事期間は8月から12月ごろまでの約5か月間。解体工事費は約1億2000万円。

認定こども園設置事業者が決まれば、令和2年8月ごろ設置事業者による園舎建設工事が開始されることになっている。

細川さん、トップ当選

日吉台初の市議誕生

大津市議選



教え子らに囲まれ当選を喜ぶ細川さん

4月21日行われた大津市議会議員選挙で、日吉台2丁目、元日吉中学校長の細川俊行さん(63)が、5332票を大量獲得、トップ当選を果たした。日吉台初の市議の誕生。祝勝会場となった2丁目南集会所は未明まで喜びと歓声にあふれていた。立候補を決意、後援会設立届を行い、選挙準備を始めたのは告示2週間前の4月1日。組織もなく出遅れ感はあるが、長い教職歴で培った教え子や日吉台学区から初の市議を送り出そうする地域の人々が熱い選挙戦を展開、党派、会派を超えた周辺の市議らの支援もあって見事トップ当選を決めた。市議の座を射止めた細川さんは、選挙戦に尽力



した教え子たちに囲まれ「選挙戦で訴えた市政、教育改革に全力を尽くしたい」と抱負を語った。

認定こども園開設に伴い解体工事が予定されている日吉台幼稚園園舎。解体工事業者が近く決定することになっている。

学区自治連合会通常総会開催 コミュニティ基金配分も決定

平成31年度日吉台学区自治連合会通常総会が4月14日、日吉台市民センター大会議室で開かれた。総会には、約110人の学区住民が出席、30年度自治連合会活動報告、収支決算報告、31年度学区自治連役員選任案、31年度活動方針、計画案など7議案と出席者の4分3以上の賛成が必要な特別議案、学区コミュニティ基金を各自治会に配分する「日吉台コミュニティ基金を廃止し、基金残高を処分する議案」を可決、承認した。役員改選では、野々口義信会長の任期満了に伴

い新しく2丁目北在住の丸山郁夫氏を会長に選任、副会長、事務局局長ら役員人事を承認、新体制がスタートした。総会の席上、学区内で地域活動に功績のあった7氏の功労表彰が行われ、総会出席者の前で野々口会長から表彰状が贈られた。

特別議決の「日吉台コミュニティ基金を廃止し、基金残高を処分する議案」は、学区コミュニティ基金にある基金を各丁に分配するもの。各自治会で、自治会活性化策や集会所管理、丁内の安全、安心のまちづくりに活用してもらおう。この基金の取り扱いについては、長年の学区の課題。昨年5月、学区コミュニティ基金管理委員会の配分方針の答申を受け、学区自治連合会が定例会や各丁住民らの討議、議論を経て総会

また、同議案で学区自治連合会に配分される配分金についても学区自治連合会特別会計で処理する案件も承認された。コミュニティ基金配分案の議決で、学区コミュニティ基金管理委員会は、各丁に資金を配分などの事務処理を終えたあと解散手続きを行うことになっている。

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ・ 帰宅時も明るくて安心
- ・ 泥棒に狙われにくい街づくり



電気代は、LED電球(40W電球相当)の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

困ります!そのオシッコ!!

マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター

ゲスヒエン木管5重奏団のメンバー



第5回日吉台コンサート

木管5重奏の響き楽しんで

6月2日午後2時半

日吉台市民センター

音楽文化があふれるまちめざして学区まちづくり協議会文化事業部主催の「第5回日吉台コンサート」が6月2日、午後2時半、「ゲスヒエン木管5重奏団」を招いて日吉台市民センター大会議室で開かれる。

ゲスヒエンとはドイツ語で「路地」という意味。路地裏から音楽が聞こえてくることを願って、1986年に浜大津の喫茶店で始められたまちかどサロコンコンサート、現在は大津曳山コンサートのレギュラーメンバーを中心に結成された木管5重奏団。木管5重奏はフルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルンの5つの楽器で構成。フルートは今では金属性が多いが元々は木で作られていた。木管楽器のひとつ。

演奏曲目は、ハイドン「ディヴェルティメント第一楽章」、イベール「3つの小品」、ファルカッシュ「セレナード」、ラモール「リゴードン」、ガヴォット、アイルランド民謡「ロンドンデリーの歌」など。主催者側は、日曜日の午後のひととき、意外と機会の少ない木管5重奏の響きを楽しんでみませんか」と来場を呼びかけている。

入場券は日吉台商店街にある「あじさいくらぶ」で、5月10日から5月31日の期間中、火曜日と金曜日の午前11時から午後3時の間で販売する。入場料は500円(小学生は無料、但し整理券が必要)。演奏当日は上履きと袋を持参する。また当日、日吉台まちづくり協議会文化事業部「日吉台コンサート実行委員会」事業への協賛金などのご協力も呼びかけている。



新年度の取り組み協議

空き家対策委初会合

2019年度第1回空き家対策委員会が4月23日、市民センターで開かれ、新年度の組織体制、取り組みについて協議した。

空き家対策を継続的に協議、検討するため対策委員会については、濱崎博・事務局長はじめ昨年度の委員が留任、空席だった委員長に野々口義信・前学区自治連合会会長を選んだ。

新年度の取り組みについて

住まいのお困りごと相談

住宅のリフォーム、賃貸、宅地に関すること、適正相続、後見など

➤ 空き家対策委員会の専門委員(1級建築施工士、土地家屋調査士、宅地建物取引士、行政書士)がアドバイスします

空き家見守り(庭の草刈り、樹木の剪定、簡単な修繕)その他、住宅維持管理に関すること

➤ 一人一時間1,000円程度の費用で、ボランティアが対応します

※ 空き家対策、大規模改修、工事などは専門業者に依頼してください

- 日吉台学区空き家対策委員会では住民の皆さんを対象とした住まいに関する相談窓口を設けました。
- 空き家所有者の方が家の維持管理に困られた場合は、「空き家見守り隊」がお手伝いします。

お問い合わせ

メール: hk137@yahoo.co.jp
電話: 090-5052-5435



入学式で式場の体育館へ入場する新一年生

希望に胸ふくらませ

日吉台小で入学式

大津市立日吉台小学校(熊川芳彦校長)の入学式が、4月8日行われ、びかびかのランドセルを背負った新一年生22人は、お父さんやお母さんらに連れられ希望を胸にふくらませ登校。元気に校門をくぐった。

新一年生たちは「一年生になったら」の歌にあわせて緊張気味に式が行われる体育館入場。会場で新一年生の名前を呼ばれると元気よく「はい」と答え、熊川校長先生の「これからみんな元気に登校してください」の入学お祝いのあいさつを緊張気味に聞いていた。